

# 2006年度全社環境目的・目標と実績

## 環境中期計画 全社環境目的・目標

全社環境目的		2006年度 全社目標	実績	評価	2007年度 全社目標	2008年度 全社目標
製品開発・サービスの提供	「Ecoプロダクト」化の推進	「Ecoプロダクト」商品基準の見直し改訂及び新「Ecoプロダクト」商品の開発	「Ecoプロダクト」商品基準の見直し改訂完了 新「Ecoプロダクト」商品の開発件数:5件	○	「Ecoプロダクト」商品の販売目標:生産高比率60%	「Ecoプロダクト」商品の開発及び販売仕入製品を含む全ての製品にEco基準の適用を図る
	「Ud&Ecoプロダクト」化の推進	「Ud&Ecoプロダクト」商品基準の制定及び運用準備	「Ud&Ecoプロダクト」ガイドライン策定完了	○	「Ud&Ecoプロダクト」商品の開発目標:2件	「Ud&Ecoプロダクト」商品の開発目標:2件
省資源、廃棄物のリサイクル	省資源活動の推進	自社生産商品に投入する資源の総投入量集計システムの構築と運用開始	集計フォームの作成完了 資源の総投入量集計システムの運用準備中	△	生産段階における廃棄物削減計画の実行による、 廃棄物排出量の削減 産業廃棄物総排出量:2006年比-1%	生産段階における廃棄物削減計画の実行による、 廃棄物排出量の削減 産業廃棄物総排出量:2006年比-2%
	産業廃棄物のリサイクル促進	リサイクル率:90%	リサイクル率:91%	○	再生樹脂使用率目標:30% 推奨樹脂使用率目標:50%	再生樹脂使用率目標:35% 推奨樹脂使用率目標:55%
	事業系一般廃棄物のリサイクル促進	リサイクル率:94%	リサイクル率:98%	○	リサイクル率:95% ゼロエミッションの達成:5拠点/8拠点中	リサイクル率:96% ゼロエミッションの達成:8拠点/8拠点中
	産業廃棄物の理立処分量の削減	理立処分量:2005年比継続維持	理立処分量:2005年比+2%	△	リサイクル率:98%	リサイクル率:98% オフィスのゼロエミッション達成:1カ所
	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量:2005年比-1%	CO <sub>2</sub> 排出量:2005年比+8%	×	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量:2005年比-2%	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量:2005年比-3%
省エネ、温暖化防止	温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス6種の排出量集計システムの構築と運用開始	温室効果ガスの算定報告公表制度に基づき、 温室効果ガスの排出量を算定	△		
	有害物質の使用量の最小化	有害物質の管理と使用量の最小化 再構築	対象物質(PATR法等)の再設定及び集計システムの再構築	○	自社管理基準の改訂完了及び削減計画の策定と運用 PATR対象物質取扱量2005年維持	自社管理基準の改訂完了及び削減計画の策定と運用 PATR対象物質取扱量2005年比:-35%
汚染防止	汚染物質の管理と放出量の最小化	対象物質の再設定及び管理システムの再構築	法規制及び業界基準を基に対象物質を再設定し、 集計システムを作成	○	自社管理基準の改訂完了及び削減計画の策定と運用 VOC排出量2000年比:-2.1%	VOC排出量2000年比:-35%
グリーン調達/購入	グリーン調達の推進	生産部門におけるグリーン調達率:80%	生産部門におけるグリーン調達率:78%	△	生産部門におけるグリーン調達率:80%	生産部門におけるグリーン調達率:82%
	グリーン購入の推進	対象物品・基準の見直し及びデータ集計システムの再構築	対象物品・基準の設定及び集計準備完了	○	製品仕入先に対するグリーン調達認定企業への認定と、 新規認定のための環境活動支援	仕入製品のグリーン調達率:50%
	全社のグリーン調達計画の策定	2007年に仕入先に対する環境活動支援を行い、 2008年度より運用を開始する		○		
技術研究・開発	地球環境負荷の低減に貢献する技術の研究・開発	地球環境負荷の低減に貢献する技術及び素材等の研究開発の実施	環境廃棄物など未利用材を活用した素材の研究開発 リサイクルを考慮した設計、技術の研究	○	環境負荷の低減に貢献する技術及び素材の研究開発の継続	
法規制等の遵守	環境関連法規制の遵守	環境関連法規制等の継続的遵守	豊屋川工場の騒音測定で、大阪府の騒音規制基準65dB以下に対し、69dBを計測 一防音シートを取り付け病期室内へは正 滋賀工場の水質測定で、窒素と磷の含有量が滋 賀県の規制値をオーバー →薬品投入量等調整し、正常値に是正済	×	環境関連法規制等の継続的遵守 違反件数:0件	
	自主規制値の遵守	生産部門における自主規制値の見直し	自主規制値の見直しの検討中	△	生産部門における自主規制値による監視 手順に従った迅速かつ適切な対応と処置の実施	
教育・訓練	計画的な環境教育・訓練の実施	全社環境教育・訓練体系の再構築とカリキュラムの策定	全社環境教育・訓練体系の作成完了 カリキュラムの検討中	△	全社環境教育・訓練体系に基づく職種別カリキュラムの策定と実施	
環境マネジメント	グループ企業で環境活動奨励	グループ企業に対する環境活動支援策の策定	連結子会社の株式会社タイメックの京都環境マネジメントシステム:スタンダード(KES)取得支援 グループ会社に対し、説明会を実施	○	グループ企業のEMS構築支援:2件	連結子会社等EMS構築完了:7社/12社中
	環境会計システムの統合と運用	全社環境会計基準及びシステムの再構築	全社システム化に向けてトライアル実施、 運用準備完了	○	新環境会計システムの運用 環境会計データの集計による内部活用方法の確立	設備投資計画段階で、環境戦略への提言を実施する
	社会貢献活動	社会貢献活動に係わる諸条件の再整備	各工場、サイト等での自主的な社会貢献活動の実施にとどまる	×	社会貢献活動の推進及び支援	

「環境中期計画 全社環境目的・目標」は、2008年度までの3年間の計画を表します。  
 ◎2007年度より、再生樹脂、推奨樹脂使用率目標を新たに追加しました。

○:目標達成率100%以上 △:目標達成率80%以上 ×:目標達成率80%未満